令和７年度陸上競技指導者講習会　実施要項

１　趣　　旨　　新潟県の中等教育学校・高等学校における陸上競技の普及、競技力の向上を図るため、技術理論と指導方法並びに指導上の諸問題について研修し、指導力の向上に資する。

２　主　　催　　一般財団法人新潟陸上競技協会　　新潟県高等学校体育連盟

３　期　　日　　令和７年 12 月 13 日（土）

４　会　　場　　デンカビッグスワンスタジアム　大会運営室４
〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎 67-12　℡025-287-8811

５　研修内容　　講　師　　順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授 / 日本陸上競技連盟強化委員長
山崎 一彦　氏
講演題　「ジュニア期からシニア期で成功するには」

６　日　　程　　受　　付　　９：３０～　９：５０
開 講 式　　９：５０～１０：００
講　　演　　１０：００～１１：３０
質疑応答　　１１：３０～１２：００

７　受 講 料　　無　料

８　申込方法　　右の二次元バーコードから申し込んでください。

《問い合わせ先》
新潟県立三条高等学校内　遠山　和志
TEL　0256-35-5703（直通）
申込〆切　令和７年 12 月５日（金）

９　そ の 他　　事前に質問がある場合は、申込フォームに内容を入力してください。

【講師プロフィール】

山崎 一彦（やまざき かずひこ）

山崎 一彦氏は、日本陸上界を牽引する指導者であり、現在は日本陸上競技連盟強化委員長として、世界で戦う日本代表チームの強化を統括している。400m ハードルの元日本代表として、バルセロナ・アトランタ・シドニーの 3 大会連続で五輪に出場し、1995 年世界選手権では同種目で日本人初のファイナリストとなるなど、日本のハードル界を切り拓いた存在である。

現役引退後は順天堂大学教授としてスポーツ科学の研究と後進育成に携わり、科学的アプローチと実践的指導を融合した育成手法を確立。多くのトップアスリートを育てるとともに、若手強化・国際経験の重視など、日本陸上の長期的強化戦略の中心的役割を担っている。

その指導は、徹底した基礎づくりと自立したアスリート育成を軸に、世界基準で戦うためのマインドと環境づくりを重視する点が特徴。競技者・研究者・指導者の三つの視点を持つ稀有な存在として、日本陸上の未来を支えるリーダーである。

～経歴～

① 主な競技記録・成績

1989 年：全国高等学校総合体育大会（インターハイ）男子 400m ハードルで 4 位入賞。
1991 年：世界選手権（東京）に出場。
1992 年：バルセロナオリンピック（男子 400m ハードル）出場。
1995 年：世界陸上 1995 イエテボリ大会男子 400m ハードルで「日本人初の決勝進出」を果たし、7 位入賞。

② 主な研究業績

研究論文：「陸上競技男子 400m ハードル走における最適レースパターンの創発
― 一流ハードラーの実践知に関する量的および質的アプローチ ―」など。